

■諦めの連鎖を止めろ■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 134 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

134 目次

1. ブログから：諦めの連鎖を止めろ
2. 今週のお知らせ： ソーシャル不動産マップ
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：諦めの連鎖を止めろ

ちょっと身の上話ですが、お許しを。先週は、ショッキングな出来事から始まった。今の僕の原点ともいえる S 社が、親会社に吸収され消滅するという。それはまさに寝耳に水。というのも、そもそも S 社が属する企業グループは、一人のカリスマ創業オーナーが率いていて、破たん企業の救済・育成により拡大してきた。僕にとってそのオーナーは、父から引き継いだ建設会社が破たんした時、見えない道を照らしてくれた大恩人だ。事業に失敗はつきものだが、それを乗り越えることで不死身の体質を会得する・・・という信念の持ち主で、経営に対する厳しい姿勢を僕も身体で知ることができた。その後、持ち株会社を新たに組成するという当時まだ珍しい手法を選んだオーナーの指示で、これらの会社の統廃合を進め現在のカタチを描いた張本人は僕自身だ。だからこそ、僕が作った S 社までもが吸収され消滅するなど、思いもよらなかった。

グループの基本戦略は、住まいに関するあらゆるビジネスを「建設・不動産・生活」の 3 分野に分け、それぞれを担う多様な企業の参加を受入れていくことだった。これから収縮していく建設不動産ビジネスにおいて、存続に苦しむ優秀な担い手の抛り所となることで、最後まで生き残る企業を目指すという発想だ。僕はこの「最後まで生き残る」という考え方に強く共感し、オーナーの夢の実現に協力した。僕が、夢や目的をどう描くかにこだわるのは、このオーナーからの影響がかなり強い。その後、上場を目指し外部から招いた経営責任者が更なる統合を進めようとしたとき、これに真っ向から反対したのはオーナー自身だった。僕はこの時、このオーナーに自分が産み落とした S 社を託したことを、正しい選択だったと確信したのを忘れない。

ところが先週、S社のM社長から、吸収合併の報告が飛び込んできた。それは「3つの分野で1社ずつ、全部で3社に統合する」ということだ。恐れていたことが起きてしまった。ついにオーナーは、自らのビジョンを継承する者を育てられず、「規模に依存する経営」にシフトしてしまったと、僕は思った。そして、久しぶりにオーナーから飯でも食おうと誘いが来た。もちろん話題はこの件で、持ち株会社とS社の両社長を交えて、「ここは大きな団結の道を選んで欲しい」という訳だ。「ふざけるな！」と僕はオーナーを睨め付けた。だがそこに見えるのは、まさに「諦め」だ。いくら不死身のオーナーでも、80歳を過ぎた今、さすがに残り時間を計るようになってたらしい。「S社の独自性を殺さぬよう考えてはみるが、どのような結果になっても引き続き協力して欲しい」と、これまでの力強さとは程遠い、寂しい言葉でその席は終わった。

僕はよく、「なぜS社を自分で経営しないのか」と尋ねられる。今回の件でも、それならあなたが持ち株会社の経営を引き受ければいいではないかと思われるかもしれない。だが僕はそう思わない。それが解決策だとはどうしても僕には思えない。僕はS社設立の当初からM氏を社長に立てて、自分は黒子に徹していた。もちろん当初は誰もが「松村さんの会社」と思っていただろう。だが年を経て、確実にM氏は名実ともに社長となっていた。後継者を育てるとはこういうことだと僕は思う。僕はある意味、42歳で隠居してM氏に家督を継承した。僕は、リーダーシップとは誰か一人が導いていくのではなく、メンバーもまたリーダーを支えることだと思う。だからリーダーには、組織の中心＝中間人物がふさわしい。能力的にも、経験的にもリーダーより優れたスタッフもいた方がリーダーは伸び伸びと活躍できると思う。リーダーが一番高齢で一番優秀な組織の未来は厳しい。だから僕は、頼まれても会社に復帰する気はない。

だからと言って、父から引き継いだ僕がせっかく次世代に繋いだものを、むざむざ途絶えさせるわけにはいかない。そこで僕は、M社長に「戦うこと」を提案した。S社にはすでにM社長が手塩にかけて育てた後継者I君がいて、今回S社の存続についてもI君が引き継ぐことをオーナーに宣言したばかりだった。そして、オーナーもI君の成長を喜び、会社を消滅させるのに後継者を承認するという自己矛盾をきたしている。そこでI君を中心に「新S社」の立ち上げを内外に宣言して、オーナーの心変わりを促す必要がある。だがその前に、今回の吸収合併に合流せず、「新S社」の設立に参加する者が何人いるのかを確認しなければならない。その人数によって、この戦いの戦略が決まってくる。もしI君を含め、誰も手を上げないようだったらそれまでのこと。S社には存続の価値がないとあきらめなければならないだろう。

「そうなったらどうしますか？」という問いにも、僕は答えなければならない。誰に対しても、僕は笑って「その時は、遠慮なく僕がゼロからスタートしますよ」と答えるつもりだ。でも、考えてみれば僕はすでにそうしているのかもしれない。僕が目指す「建設・開発を前提としない、土地資源の有効活用」が、様々な意味で区切りを迎える建設を含む既存ビジネスの変革に寄与することを確信している。もし僕が、これから建設会社を始めるのならどんな会社にしたいのか、そんなことを真剣に考えることになるかも知れない。いずれにせよ、僕が一番恐れるのは「諦めの心」だ。会社存続のために当初目的の実現を、たとえ一時的であっても諦めることは恐ろしい。なぜなら、一つの諦めはさらなる「諦めの連鎖」を生む。

先週の出来事は、失敗や敗北よりも、諦めの方が恐ろしいことを、あらためて僕に思い起こさせてくれた。

<http://nanoni.co.jp/20171119/>

.....

2. 今週のお知らせ： ソーシャル不動産マップ

今週も、古民家活用の事例訪問で駆け巡る予定ですが、そこで見つけた情報をまとめてご紹介するのが「ソーシャル不動産プロジェクト」です。

まずは、同名のフェイスブックグループに事例を紹介し、そこで出会ったオーナーさんや事業者さんをメンバーに加えさせていただいています。

<https://www.facebook.com/groups/social.land.project/>

「古民家活用」とは言うものの、実際僕が集めたいと思っているのは、「土地オーナーが挑むまちづくり事例」。「古民家」という言葉が、そういう事例を探し出す重要なキーワードになっていることに最近気づきました。

目下、東京周辺で220件以上をリストアップして、地域ごとに訪問しています。

そこで今日は、このマップをしばらく(1か月間)公開するというご案内です。

下記のリンクからご覧いただけますので、覗いてみて下さい。

https://drive.google.com/open?id=1491jHwz2vNiZGIxXH2L2WG5x_0U&usp=sharing

ここにプロットしたスポットの中から、土地オーナーが関わっているプロジェクトだけに絞っていきませんが、せっかく集めた面白い情報なので、リンク先の web サイトも併せてお楽しみください。

そして、ここに乘っていないプロジェクトをご存知でしたら、是非ともご一報ください。

古民家活用の事例を訪問すると、いずこもオーナーの意向や相続問題などの制約に怯えながら苦勞なさっています。だからこそ、オーナーと一緒に取り組むことで、プロジェクトの自由度と継続性が格段に高まります。

第1次リサーチは今月中に完了しますので、その後のご報告もお楽しみに。

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

笑恵館では毎週土曜日の午後、随時開催いたします。

- ・ 日程：11/25、12/2,9,16（毎週土曜日）12-21 時
- ・ 会場：笑恵館、受講料：3000 円／講座・初回無料
- ・ 予約制：このメールに返信、またはタイムチケットで

<https://www.timeticket.jp/items/39813>

その他会場募集

- ・ まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。
- ・ 会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

■個別メール・まつむら塾

まつむら塾の講義内容について、気軽に質疑を受け付けます。
初回無料、月額 3,000 円～承ります。

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

- 凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。
◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。
●同行可能：僕の訪問先にお連れします。
★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

- (月) 11/20 ○作業日 調査ツアー⑥都心
(火) 11/21 ○作業日 調査ツアー⑦渋谷世田谷
(水) 11/22 ○作業日 調査ツアー⑧中野杉並
(木) 11/23 ○作業日 調査ツアー⑨埼玉
(金) 11/24 ○作業日 午後から笑恵館で面談可
17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
(土) 11/25 ○作業日 終日笑恵館で面談可
12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
(日) 11/26 ○休業日
10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 11 月例会
<https://www.facebook.com/events/515738358772422/>

■その後のイベント

- 12/01 19-21 時 ★第 24 回 解決しゃべり会
12/02 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
12/08 19-21 時 ★カップラー起業交流会(三茶)
12/09 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
12/14 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議
12/14 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
12/16 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
12/17-19 屋久島旅行(現地で会える人募集中)
12/21 13-16 時 ★笑恵館なるほどデイ
12/24 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 11 月例会
12/27 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
1/06 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
1/21-24 シンガポール旅行(現地で会える人募集中)

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。
松村の予定はこちらで公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>